



みんなでつこう！安全・安心・快適なわった～バス バスがかわる。バスでかわる。

わった～バス党  
ホームページ



# わった～バス新聞



## わった～バス党法人党員、合計101社に！

### 2社が新たに仲間入り！

わった～バス党では、美ら島沖縄のより良い未来のために、公共交通の利用促進に取り組む企業を「法人党員」として認定し、その支援を行っています。党員企業は現在100を突破し、101社（2026年3月現在）となりました。マイカー通勤からバスやモノレール、自転車や徒歩への転換の呼び掛けや時差出勤の導入、ノーマイカーデーの実施他、バス・モノレール県民モニターやバス無料乗車体験による公共交通利用の参加など、各社ができることに取り組んでいます。

2026年3月27日（金）には、沖縄県庁内の県民ホールにて新たに加わった2社の党員認定式と、公共交通利用促進に活発な取り組みのあった法人党員企業、団体を表彰する「Thanks Award（サンクスアワード）2025」の表彰式を行い、各社の取り組みを紹介しました。



前列左から琉球銀行・沖縄県環境科学センター・あいおいニッセイ同和損保・大成ホーム

### <今年度入党の新しい法人党員>



「沖女エコキャンパス事業」として、太陽光パネルの設置など脱炭素推進にも取り組む中、マイカー移動を路線バスにシフトできれば、渋滞解消にも脱炭素の推進にも貢献できると考え、入党しました。



法人党員認定式の模様(大成ホーム)



健康経営優良法人を取得し、公共交通機関の利用促進を通して社員の健康増進を目指すことに加え、沖縄県SDGsプラチナパートナーとして取り組む交通渋滞解消やCO<sub>2</sub>削減、健康増進などがバス党の活動と重なることから賛同し入党しました。

■法人党員は継続募集中！  
詳しくはこちらまで

## 「Thanks Award 2025」表彰企業

### MS&AD あいおいニッセイ同和損保

社員全員が自動車以外の手段で出勤している点が評価されました。また、ピーク時間帯を避けた時差出勤やシフト勤務の導入を行っており、通勤手段に関係なく、交通費を全額支給しています。



### 一般財団法人 沖縄県環境科学センター

入党後、社員20名が自家用車からそれ以外の通勤手段に転換。エコ通勤手当の支給や増額、マイカー通勤による渋滞、CO<sub>2</sub>排出による地球温暖化や環境デメリットの周知、バス・モノレール・自転車・徒歩などによる通勤手当の優遇措置を実施。職員に利用可能なバス路線の時刻表等が随時確認できるサイトの掲示を継続中(随時更新)。多様な取り組みが評価されました。



### 琉球銀行

バス・モノレール・自転車・徒歩などによる通勤手当の優遇措置を行っています。社内広報を積極的にしており、わった～バス党のラジオ番組企画にも協力。今後も公共交通の利用促進のための広報活動を積極的に行い、バス党の取り組みに協力したいと考えている点が評価されました。



# 楽しく学ぶ「バスの乗り方教室」開催

わった～バス党では、小学生に路線バスの乗り方や役割について学んでもらおうと「バスの乗り方教室」を実施。党首・幹事長、そしてバス会社の方が学校を訪問し、クイズなどを交えながら楽しくわかりやすく公共交通についてレクチャーしました。今年度は次の5校で行われました。

- 那覇市立真嘉比小学校 ・■沖縄県立西崎特別支援学校
- 宜野湾市立志真志小学校 ・■浦添市立仲西小学校特別支援学級
- 沖縄市立泡瀬小学校特別支援学級

## 車内のマナーや運賃を学ぶ本物の路線バスへの乗車体験も

授業では、乗り方の手順や市内線と市外線の違い、OKICAの使い方などを学習。校内で待機するバスに乗り込み、整理券の取り方や運賃表の見方を学んだり、降車ブザーを鳴らすなど実践。運転手がスロープを使って車イスを乗せる様子にもみんな興味津々でした。運転席に実際に座り、たくさんのミラーがあることを発見したり、乗車マナー、安全・安心なバス利用を総合的に学びました。

## バスを知ることでもっとバスが身近に！大好きに！

CO<sub>2</sub>削減や交通渋滞削減につながる、公共交通の役割・利点も学び、最後にクイズでおさらい。質問コーナーでは、「バスを買うお金はどこから持ってくるの?」「なんで子どもにバスの乗り方を教えるの?」など、好奇心旺盛な質問に会場は笑いや歓声、拍手に包まれ、バス会社の方が丁寧に回答する姿も印象的でした。「バスに乗っておもしろかった!」「バスが好きになった!」「整理券といっしょにお金はらうっておぼえた!」とみんな元気に感想をコメント。「子どもたちの反応にびっくり!集中力もとぎれず楽しそうだった」「バスに乗れてみんなうれしそう良かった」など、先生方にも好評でした。



## 子どもたちに寄り添う内容で学びの機会を提供

開催理由は学校によってさまざま。真嘉比小は総合学習の授業で絶滅危惧種について学んだことがきっかけで、地球環境の変化や社会全体を見ることができればと思ったそう。遠足を控えていた志真志小では「乗車中のマナーを学び、スムーズに行動を」との狙いもありました。支援学校や支援学級では「将来の自立を見据えて路線バスが利用できるようになってほしい」「車イスで乗れることを知らせたい」「障がい者手帳を運転士に提示するタイミングを教えたい」など、移動手段として具体的なスキルや知識を身につけさせたいという、先生方の深い想いを感じました。

今後も誰でも安心して快適にバスを利用してもらえるよう、さらに活動を広げて行く予定です。



## LINEでカンタン!バス検索!!

「LLOCANA(ロカナ)」

新たな路線バスの検索サービスとして登場したのが「LLOCANA(ロカナ)」!

LINEアプリから直接利用できるバスロケーションサービスとなっており、LINE公式アカウントを友だち追加するだけで、すぐに無料で利用できます。

主な機能は「路線検索」「時刻表表示」「運賃確認」。さらに乗りたいバスが今どこを走っているのかが一目でわかります。

通勤・通学などで日常的にバスを利用する方はもちろん、バスを利用することが少ない方でも調べやすいので、移動先でも簡単に確認できます。バスのお出かけを気軽にスマートに楽しむならLLOCANAですね。

## 経路地別で便利!

「国道58号まとめ時刻表」試験運用スタート

通勤・通学で多くの人が移動する「国道58号」は、バス移動が便利なエリア。朝の7時台だと那覇向け運行本数は、1時間に20本を超えます。ただ慣れない人には、到着したバスが自分の目的地近くまで行くのかが、わかりにくいこともありました。

「58号まとめ時刻表」は、那覇向けのバスを經由ルート別に整理。久茂地経由、美栄橋経由、牧志経由、おもろまち行きなど目的地に合わせて選びやすくなっています。

まずは利用者が多い「伊佐」「宇地泊」「SCSK 沖縄センター前」「上之屋」のバス停から試験運用がスタート。実際に利用していただき、ご意見をもとにさらに改善を進めて、本格運用につなげていく予定です。

## かなえ!夢バス図画コンクール

たくさんのご応募ありがとうございました!

「あったらいいな、こんなバス」をテーマに、小学生を対象に開催された「かなえ!夢バス図画コンクール」。県内60校から253点の応募があり、党首・幹事長、各バス会社、バス協会、絵本作家のしるませいゆうさんらが審査を行い、18点の入賞作品が決定、表彰式が行われました。

恐竜やマンタ、沖縄そばなどをモチーフにした楽しく自由な発想の作品を前に審査員は「もっと奇想天外なインパクトのあるバス、待ってますよ!(しるま)」 「今回もおもしろいバスに会えてサイコー!(ゆうこ)」 「双子ちゃんや兄弟での受賞があつて珍しい会になりました。(ばん)」とコメント。

最優秀賞は沖縄市立高原小4年、上里優護さんの「アクアリウム・ジンベイザメをのせて」。「家族で水族館によく行きます。ジンベイザメが好き」と話してくれました。作品は路線バスにラッピング、3月末まで運行しました。

※旧バスなび沖縄のWebサイト版「のりものNAVI Okinawa」は引き続き使えます。



※わった～バス党Webサイト内「国道58号那覇バスターミナル向けまとめ時刻表」は上のQRコードより。ページ内のアンケートボタンから、感想やご意見などもぜひお寄せください。

※入賞作品は夢バスページで公開中!

